

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		-	-	-
(四国)		商店街（代表者）	来客数の動き	・週末ごとに中心商店街の公園で集客力のあるイベントが行われており、その観光客が周辺の店にも流れている。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・婦人服の動きが比較的良く、また高級時計などもよく売れている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・微増だが客数が増加している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・少し寒くなったため来客数も多少増え、例年に比べて客単価が上昇している。消費税の引上げのためかもしれないが、それまでは景気は良くなるだろう。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・悪くなると予想していたが、予想以上に販売台数が伸びた。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新型車の販売動向が良くなっており、特に高級車が好調である。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・平成30年7月豪雨災害の影響を受けたが、13府県ふっこう周遊割で、客が動き出した。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今はお遍路さんのシーズンで仕事が入ってきている。夏はほとんど仕事がなかったため、売上は増加している。
		通信会社（技術）	販売量の動き	・利益率の高いサービスの販売量が右肩上がりの状態をキープしている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税の引上げ等の不確定要素がある状況下で客が堅実になっており前年並みの状況だった。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・夏の大雨や台風の被害から、少しずつだが回復の兆しがある。市場への出荷が安定してきた。ブラックフライデーの影響で年末に売れる見込みの商品が前倒しで早く売れた。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は前年を下回ったが、外商の大口が3件あり、前年の売上高を維持できた。
		百貨店（販売促進）	単価の動き	・美術品や宝飾品、じゅうたんなど一部の高額商品などが好調だった。
		百貨店（営業統括担当）	販売量の動き	・文化の日が土曜日と重なった影響もあり、来店客数が減少した。また、気温が下がらないため、冬物重衣料に対する関心がまだ低く、衣料品、雑貨の売上が苦戦している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・以前と変わらず、全体的に人口減の影響を受けている。競合店が閉店した地区の店舗のみ売上が上昇するようになっている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・客数前年比が横ばいで伸張がない。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・今月は前年並みの売上になっている。気温の低下とともにコート等の重衣料が売れてきているため客単価はプラスになったが、来店していない見込み客も多く、全体の動きはまだまだ鈍い。
		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・映像商品は4K放送の開始予定に伴い好調であるが、季節商材に関しては気温が下がらないため、全体的には横ばいになっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車受注台数の前年比は、今月も若干増加して推移している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・消費税の引上げにはまだ少し時間があり、年末が近づいているためか新車を見に来る客が11月は少なかった。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・コート等の重衣料に動きがない。値下げすると少し反応があるという状況が続いている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊に限ると若干悪いが、13府県ふっこう周遊割の補助金が出るようになり、それが下支えしている状況である。レストランは忘年会シーズンになってきたものの、余り伸びていない。景気は少し停滞気味である。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・特段の変化は見られない。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・どこの店も暇そうであるとの声を聴いている。

	設計事務所（所長）	単価の動き	・鉄骨等の建材価格が、まだまだ上昇し続けている。
	商店街（事務局長）	販売量の動き	・アパレル、雑貨、宝飾品、化粧品などの高級品がここ1年ほどは好調に推移してきたが、10月の株価の大幅な下落を受け、宝飾品の売上にブレーキがかかった。平均株価が23,000円まで回復しないと、今後の富裕層の消費に影を落とすだろう。
	商店街（代表者）	それ以外	・地方経済が疲弊するなかで、官民一体で進めてきた街づくり事業が後退し続けている。民間の活力がそがれ、地域組織の弱体化も目立っている。
	スーパー（企画担当）	単価の動き	・秋口以来の気候の不順で青果物を中心に品不足や価格高騰が発生し、客の買い控えや他企業との比較購買が更に顕著になっている。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・様々な販売促進強化策を講じているが、効果は限定的である。目立った客数回復にはつながっていない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・宴会の機会が少なくなり、一次会でそのまま終わりという声が多い。昼間も全体的に乗車率は悪い。
	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・売上が3か月前と比べて15%減少している。
	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・来客数及び電話、ネット利用者が低下傾向にあり、利用金額が全体的に減少してきている。
	x コンビニ（店長）	来客数の動き	・10月ほどの減少ではないが、相変わらず客数、売上共に減少している。たばこの販売が10月の値上げ以降減少している。
企業動向関連	*	*	*
(四国)	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・9月の受注ダウンから猛反発し、受注量が大きく増加した。台風などの影響で工事が遅れていたこともあるが、11月の受注見込みも好調に推移している。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・天候も良く、世相も比較的平和であるため、安心している。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・豪雨の影響で不通になっていた輸送ルートが復旧したことで、一時鉄道から離れた既存客の物量が回復した。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新製品を積極的に展開した結果、前年と変わらない売上高で推移しているが、そうでなければ厳しい状況になっているだろう。店頭自体は余り良くない様子である。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国での大口客への商品が問題を抱えており、まだ売上が増加しそうにない。
	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・10月以降天候に恵まれ、農業資材、レジャー、外食関連の受注が好調であるが、産業関連資材、スーパー関連製品などは動きが悪い。
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量については総量ベースで大きな変動は見られない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・思うようには受注が伸びない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7～8月の豪雨や台風による災害対応業務により、繁忙状態が継続しており、従来業務も抱えていることから、処理能力の限界に近い状態が続いている。今年度中は、繁忙状態が継続すると思われ、景気はやや良い状態が継続している。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・年末繁忙期を間近に控え、取扱物量の増加に期待したが極端な変動は見られず、おおむね前年並みに推移した。地方圏においては東京オリンピック、インバウンド、輸出の拡大等による恩恵はほとんど期待できず、都市圏との景気格差が大きい。取扱物量の増加につながる消費税の引上げ前の駆け込み需要も見受けられない。
	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・年末に向けて例年活況となるはずのボーナス商戦に向けた各社のキャンペーンが、今年は少ない。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の財務諸表やモニタリング状況では特に大きな変化がない。
	公認会計士	取引先の様子	・各法人の決算内容、あるいは試算表の内容はほとんど変わらない状態が続いている。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・暖秋の影響によって台風被害から作柄が回復するとともに、寒冷地の出荷延長もみられ、潤沢な入荷となっており、厳しい販売単価の品目が出るなど状況は一転している。

	x	-	-	-
雇用 関連		-	-	-
(四国)	人材派遣会社 (営業)	周辺企業の様子	・求人を出しても人が集まらず、人材確保に苦労している。現場スタッフの負担が増えるため、生産性を向上させるための職場環境改善が求められる。人材育成と意識改革のための研修に取り組む企業が増えてきている。	
	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人が出ている会社と、減産になり派遣契約が終了していく会社があり、業種により開きがある。	
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・好調な話を聞く反面、悪い話も同程度ある。	
	民間職業紹介機関(所長)	雇用形態の様子	・サービス業は相変わらず人手不足であるが、同業界の採用形態はパート、アルバイト、契約社員等が多く、正規採用の企業が少ない。こういった状況の是正が必要である。	
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・派遣スタッフが大幅に削減される企業があった。	
	求人情報誌(営業)	周辺企業の様子	・近隣の企業の年度末までの業績予想は、どこも横ばい、若しくはやや悪くなっている。特に製造業では、一部を除いて、長く続く人手不足により疲弊しており、景気の良い話は聞かなくなってきた。	
	新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・広告を取り巻く環境はますます厳しくなりつつある。	
	職業安定所(求人開発)	周辺企業の様子	・10月の有効求人倍率は1.58倍で、3か月前と比べて、0.08ポイント増加しているが、最近、企業規模の縮小が増加しているため、景気動向はやや悪化している。	
	x	-	-	-